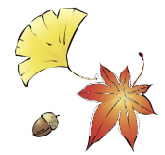


すずの郷



「母もまだまだ多くのことができ、母と一緒に楽しめることを発見、実感した旅行になりました」

母娘の北海道旅行。娘さんからいただいた寄稿文の一文です。もう行けないと思っていたところに行くことができた。もうできないと思っていたことができた。日々の生活の中で私たちがそう思われることが度々あります。何事も諦めず、お年寄りを信じて日々の生活を送りたいと再認識させていただいた笹野直子さんと娘さんの北海道旅行をご紹介します。

かけがえのない日々 ～母娘の北海道旅行 笹野直子さん～

定年まで小学校の教師をしておられた笹野直子さん。5年前、すずの郷西館に同居されてからはずっと直子先生の愛称で皆さんから慕われています。

今年の1月に血圧が上がり、体調を崩されたことがありました。



セントレアから出発～

その時、2人の娘さんが、夜にも関わらず、静岡と滋賀から駆け付けてくださいました。この1年は、少しずつ体重が減ってきました。娘さんと今後について話し合ったところ、今の直子先生の状態から見ても、入院し加療しても食欲が上がることは困難との判断で、す



四季彩の丘の絶景!!

ずの郷でできることをやっていた。こういうことになりました。「母が私たちに、もっと来なさいと行ってくれているのかもしれない」とそれからはお仕事に忙しい中でも、直子先生との時間をたくさん作るよう努力して下さり、遠方から毎月のようにすずの郷へと足を運んでくださいました。そんな中、娘さんから北海道旅行の話をしていただき、最初はビックリしましたが、計画して行くうちに私も楽しみにになり、不安や心配もなくなっていました。

「壮大な自然と壮大な家族の愛」

北海道大雪山旭岳温泉2泊3日の旅



みんなで楽しい食事♪

「お母さん!!北海道だよー。北海道に来れたね。」旭川空港に着いた時、娘さんが直子さんにかけた言葉に私はなんだかほっとしました。8月29日。台風で逆行し飛行機が飛ぶのか心配していましたが、2日続けて空には虹が架かり、北海道に迎え入れられているようにさえ思いました。早朝の出発でしたので、直子さんは緊張の面持ちで眠気もあったでしょうが、国府宮駅では笑顔もみえスーツケースを持つ娘さんをじっと見ていた様に思います。そんな姿をみて、家族旅行ってやっぱりいいなあとしみじみ思いながらセントレアまで向かいました。飛行機へは係りの人が付き添ってくれて乗り込みもスムーズです。直子さんも飛行機の揺れにも動じずあつとい



北海道でみる虹に感動

今月のベストショット

すずフェスティバルが近づいてきました!!すずフェスの鼓笛隊の練習に参加された川松千代子さん、北野淑子さん。川松さんが、北野さんの得意なピアノに合わせ「仰げば尊し」を熱唱!「大好きだった小学校の先生を思い出すよ」と涙を浮かべ話して下さいました。大切な思い出の曲の一つだそうです。音楽っていつの時代もいいものですね。

う間の空の旅。

旭川空港に着きました。抜ける様な空の青。北海道に来た事を実感しました。レンタカーで美瑛まで足を伸ばし、四季彩の丘を観光しました。ケイトウやマリーゴールドが畑一面に咲き、花畑の中をカートで走りました。大自然の風と花の匂いを、直子さんは娘さんに挟まれて、感じていたと思います。ラピスタ大雪山ホテルへ向かう途中、大きな虹のアーチが架かりとてもきれいでした。夕食はフランス料理のフルコース。直子さんの食欲に娘さんも私たちも驚くばかりでした。美瑛牛のステーキも完食され、夕張メロンジュースもおかわりされました。お誕生日をケーキで祝いし、娘さんに囲まれてとてもあたたかい時間になりました。

2日目は外は雨。でもそれは恵みの雨に思えました。家族水入らずの時間。どこへも行かず温泉三昧。1日目は貸切風呂へ入ったけれど、2日目は大浴場にみんなで入りました。娘さんに頭を洗ってもらい、背中を洗ってもらい、とても気持ち良さそうでした。お部屋では、娘さんたちの仕事をする姿を見守っている直子さんの母の顔が、とても印象的でした。そして何より3



宿泊したラピスタ大雪山



大雪山をバックに記念撮影

そこには壮大な自然がありました。そして壮大な母の愛、娘さんの愛を感じました。旅行中、コース料理を完食された直子先生は、施設に戻ってからますます食欲が上がり、私たちは驚くばかりです。娘さんと過ごす時間、今回の旅行で直子先生がお元気になっていかれたことは間違いありません。思い切った旅行へ行って本当に良かった。親子の愛、旅行の奇跡をまた見せていただき、心から感謝いたします。(林江梨・佃里予)

娘さんより「寄稿文」

この度8月26日から2泊3日で母と一緒に北海道旭川に家族旅行に行きました。北海道は、母がまだ行ったことがない、元気があったところに行ってみたくて行ってきた場所でした。ラベンダーはすでに終わった時期でしたが、花畑もきれいで、温泉がある山の上のホテルのさわやかな空気の中で、ゆったりゆっくり過ごすことができました。

行く前は、飛行機の気圧など母の健康を心配するところも多かったのですが、行ってみれば母はホテルのフレンチのフルコースをほぼ完食し、もう一生食べることはないだろうと思っていたステーキも細かく切るとすべて食べることができました。温泉も大浴場に一緒に入って、私たちも驚きの連続の旅でした。母も、まだまだ多くのことができ、母と一緒にいろいろなことを楽しめることを発見、実感した旅行になりました。

お母さんと話を切り出す私たちに、すずの郷のみなさんそして、躊躇なく快く実現にむけてさまざまにサポートしてくださったことに本当に感謝しています。江梨さんには間取りも含めて適切なホテルなどを探していただいて、介護仕様のレンタカー手配なども本当にお世話になりました。すずの郷のみなさんとともに母とのよい思い出をつくることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

(笹野恵理子様・久美子様)



「ありがとうございます」と手を合わせて拝まれる方や、嬉し涙を流される方がみえました。終始周りからは、拍手や笑い声が絶えない雰囲気の中、私自身、すずの郷のお年寄りに対し、改めて今まで色々な経験をされ、それを乗り越えてこられた、人生の大先輩として改めて再認識させていただきました。また常日頃、少しの表情の変化も見逃さずに、私の顔を見たら声を掛けてくださる方や、一緒に笑ったり、真剣な話をしたり、代わりに涙を流して下さったり、時にはお互い本気で思っていることを言い合ったりと、一緒にいる時間がいかに大切なものかを、私は入社4年目にして学ぶことが出来ました。今回感じたことを踏まえて、来年の敬老会は、さらにパワーアップしたものを、お年寄りと一緒に作り上げることが出来たらと思っています。

(柴田英里)



酒樽を割ってお祝い!!



皆さんで記念撮影

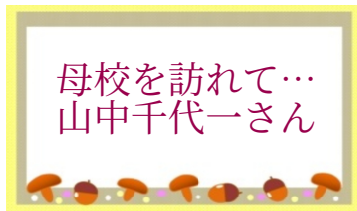


←お昼は豪華なお祝い膳で皆さんのご長寿をお祝い

川島たづさん
99歳山本カヲルさん
99歳三好マサエさん
102歳

←100歳以上の方への表彰式

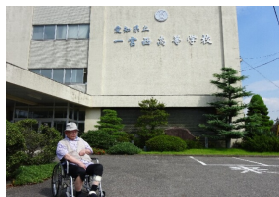
敬老会を → 彩る花を皆で生けました

↑スタッフお手製の敷紙
歓声が沸きました本崎ムメさん
99歳木全式子さん
101歳

9月7日、山中千代一さんは、懐かしい尾西高校と一宮西高校へ出掛けられました。山中さんは長年教員をされていて、一宮西高校では10年余勤務されておられ、尾西高校は開校当初から校長を10年余りされておられた思い出の学校です。尾西高校では、山中さんが赴任されていた頃に一回生だった生徒の方が今、教員をされていて、その方が出迎えてくださいました。「山中先生、お久しぶりです。他の先生の教え子も今、教員をしています」と出迎えて下さった先生が、また別の教え子である先生を紹介して下さいました。この先生は、山中さんご夫婦に仲人もしていただいたそうで、山中さんの奥様についてのお話もできました。懐かしい再会のあと、校舎をぐるり。下駄箱は、見事に40年の歴史を物語っていましたが、その下駄箱を見て山中さんは「うん。昔のままだな」と微笑みながらおっしゃいました。グラウンドで現在の校長先生と挨拶をし、帰りには教え子でもある先生たちと記念写真を撮りました。一宮西高校では、校長先生と教頭先生が出迎えて下さいました。こちらでも校長先生が山中さんの教え子で、教員の教え子の先生もいらっしゃいました。学校を回ると、昔のことを思い出され「懐かしいなあ」とおっしゃっておられました。

実は私も、尾西高校の山中先生の教え子です。尾西高校の卒業生の私にとって先生と一緒に外出できたことはとても幸せな時間でした。すずの郷で山中先生と再会し、先生と一緒に学生時代にタイムスリップできたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に、事前の計画段階から、お忙しいのにご協力頂きました学校の先生方、ありがとうございます。(石原香折)



懐かしい校舎の前で



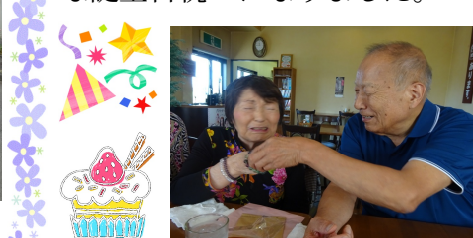
教え子の先生たちと



沢山のご家族に囲まれて

8月30日、嶋谷喜代子さん74歳のお誕生日。ご本人様の希望により、大好きな旦那様、妹さん、息子さん家族、仲良しの山内正子さんをお招きし、パスタ料理店のカルテットにて誕生日会を行いました。何日も前からずっと楽しみにされていました。当日はしっかりメイクして、お気に入りの服を着て出かけ、カルテットに着くと、お孫さんと旦那様からサプライズのプレゼント！ずっと欲しかったブレスレットをもらい、涙を流してとても喜ばれていました。ピザが大好きな嶋谷さんはシーフードピザを注文され、旦那様にカットしてもらおうと、嬉しそうに頬張って、1枚ペロリと完食されました。妹さんとは昔話に花が咲き、若い頃のお話をたくさん聞くことが出来ました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後に家族みんなで写真撮影をしました。施設へ戻ると何度も「楽しかったね。いい誕生日になった」と言って下さいました。ご家族様と、とても良い時間を過ごせていただけた素敵な誕生日祝いになりました。(石原千裕)

ご家族様と、とても良い時間を過ごせていただけた素敵な誕生日祝いになりました。(石原千裕)



旦那様、お孫さんからのプレゼントに涙

武光観光だより ～多賀大社とラコリーナ近江八幡へ～

9月の武光観光は滋賀県。まずは多賀大社へ。大鳥居をくぐってすぐ、「太閤橋」という傾斜のかなりきつい石橋がありました。そこへ、92歳の加藤政子さんが果敢にも歩いて挑戦!!見事渡り切りました。やはり旅の力は凄いですね!!この日は豊年満作を感謝する秋祭り「九月古例祭」が斎行されており、神輿などを見学することもできました。

その後「ラコリーナ近江八幡」へ。和菓子で有名な「たねや」が展開するショップ。2階のカフェで窓から見える自然を満喫しながら、ここでしか食べられない、ふわふわの焼きたてバームクーヘンに舌鼓。神聖な空間、新鮮な空気あふれる大自然を十分に満喫し、身も心も洗われた旅となりました。

12月の武光観光はホテルでクリスマスランチです。ちょっぴりオシャレして、クリスマスを楽しみましょう～。締切は11月1日です。(落合慎二)



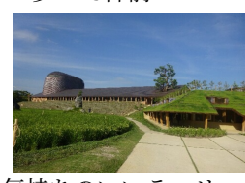
太閤橋 登った～!!



歩いて神前へ



秋祭りも見れました



気持ちのいいラコリーナ

